

## 第2回東御市まちづくり審議会議題に係る追加意見・回答書 (第11次東御市交通安全計画の策定について)

資料6

ご意見	回答
<p>・目次第1章4 役割分担と連携強化について この計画書は全体的に文言だけで分かりづらいイメージを受ける。 誰もが読みやすく、分かりやすいものとなるよう、交通安全を担っている課やその他の機関などとの相関図やその連携ぶりを教示するなど、図式化するとよいと思う。</p>	<p>関係課や行政機関等との相関図や連携ぶりを図式化します。</p>
<p>・P9 (6) 地域が一体となった交通安全対策の推進 事故の未然防止につながる箇所などの提言を、誰もがいつでも申し出ることができる窓口、インターネット等のできるシステムがあればよいと思う。 例:コンビニの駐車場から出ていく車にとって、自分が向きたい出口の場所によっては通学路になっている歩道を横切らないと出ることができない。通学路の標識が入店してくる車にはわかりやすいが、出店する場合、初めての人などには分かりにくい場所にあるコンビニがあり、下校中の新入学の小学1年生の子供に全く気が付かず出ていった車と、どうしたらよいかわからない児童の姿を見たことがあり、たいへん危険ではないかと思っている。このようなことをいつでも誰でも気軽に伝えられるところがあればと思う。</p>	<p>交通安全の要望につきましては、区からの長期事業計画や区長からの相談、まちづくり懇談会における要望等を取りまとめ、毎年12月に上田警察署へ要望しております。 誰もがいつでも申し出ることができる窓口等につきましては、電話やメールなどにより生活環境課生活安全係で常時受け付けております。</p>
<p>・p.5東御市の交通事故の特徴の加筆 市内の死亡事故や、高齢者関係の記載は既にあるが、その前提として、市内全体では、そもそもどういった交通事故が多いのか、どういった傾向があるのか、特徴等を簡潔に加筆いただければと思う。 (例えば自動車事故が大きな割合を占める、等々)</p>	<p>市内の交通事故の傾向や特徴を追記します。</p>
<p>・p.17(4) 先端技術の活用促進での加筆 東御市では、先端技術を活用した自動運転の実証実験等もなされ、今後も展開される可能性があるかと思うので、1文、「また、先端技術の活用や技術発展を踏まえたシステムの導入を推進し、交通の安全を確保していきます」等のサポカー以外の先端技術の活用促進に関して、言及がなされるとよいかと思う。</p>	<p>サポカー以外の先端技術の活用促進に関して追記します。</p>
<p>・p.22車両の安全性の確保での加筆 上記とも関連するが、県の計画では、先端技術を活用した自動車の普及や、それに対する理解醸成に関する記載があるので、1.で高齢者の話に限定することなく、社会全体で先端技術の導入を進めていくことや、それに対して過信・誤解防止をするようなことへの言及が一つ、あるとよいかと思う。 (例えば、1. 先端技術の活用・理解醸成等の推進 先進安全技術の活用や自動運転の実用化は、交通安全の向上に資する可能性がある一方、それらに対する過信・誤解は事故等につながることから、活用の推進及び理解醸成等を推進します、など)</p>	<p>社会全体で先端技術の導入を進めていくことや、それに対する過信・誤解防止に関して追記します。</p>
<p>・鉄道関係の記載は不要か 県の資料には鉄道関係の記載があったので気になった。(何か理由があって不要ということであれば問題なし。)</p>	<p>当市も「しなの鉄道」が運行していることから、鉄道関係の記載について追記します。</p>